

## 事業コンセプト

# 環境との調和で、 創り、つなぐ、未来の弘前

環境との調和をはかり、  
市民のみなさまが満足する水道施設を創り、  
未来の弘前につなげます。



## 新樋の口浄水場完成予想図



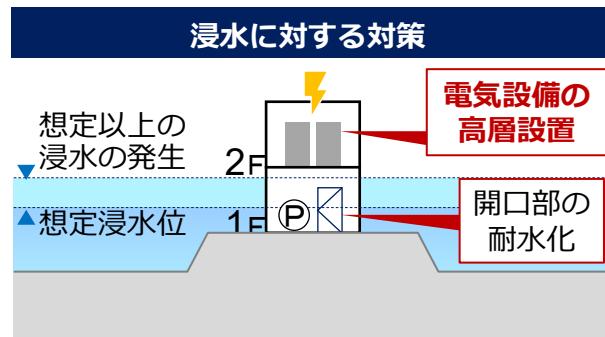
## 新常盤坂送水ポンプ場完成予想図



# 技術提案の概要（災害対策・地域住民、地域社会への配慮について一部抜粋）

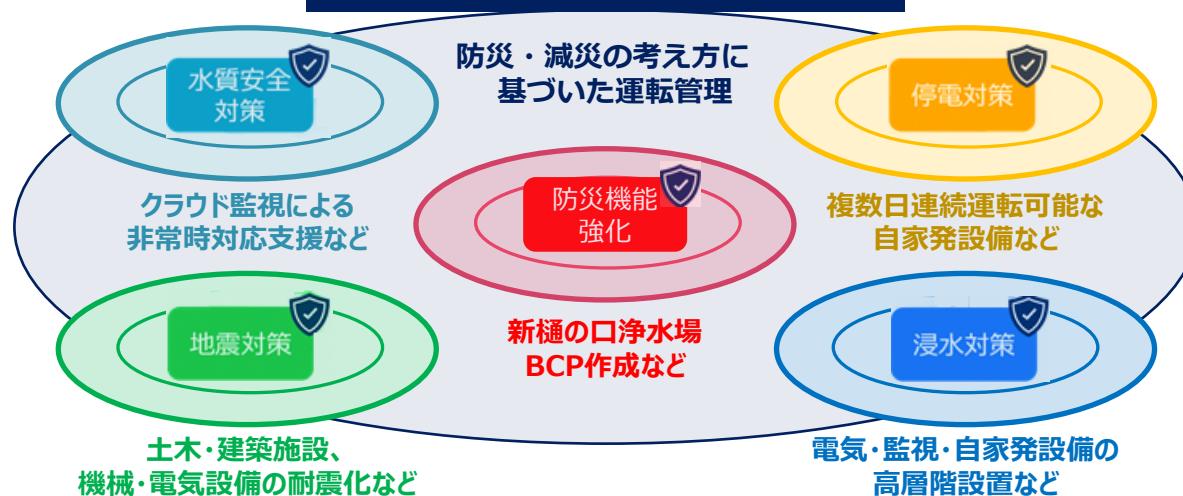
## 想定外の災害に備える防災・減災対策

①新樋の口浄水場は、岩木川の氾濫時に備え、構造物に「浸水対策」を実施します。



②浸水対策以外にも、「水質安全対策」「地震対策」「停電対策」「防災機能の強化」において、「弘前市地域防災計画」で想定される地震や豪雨災害等の対策に加え、想定を超える事象に備えた防災・減災対策を実施します。

## 想定外の事象に備えた防災・減災対策



## 応急給水拠点としての機能

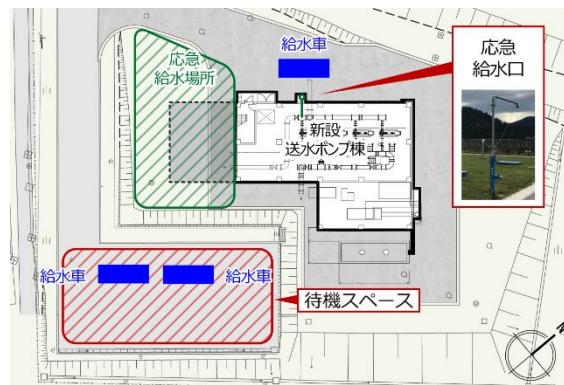
①応急給水活動拠点である新樋の口浄水場と新常盤坂送水ポンプ場において実施する災害対策や応急給水方法について、見学会などで市民に広くお知らせします。

②災害対策として、浄水場における浸水対策や給水機能について、見学会などで市民に広くお知らせします。

③応急給水方法として、新樋の口浄水場では、応急給水口から応急給水車への給水を可能とします。新常盤坂送水ポンプ場では、応急給水場所において仮設給水栓から、市民にも給水が可能です。



新樋の口浄水場における応急給水方法



新常盤坂送水ポンプ場における応急給水方法

## 展示内容とイメージアップに対する配慮

①管理棟1階ホールに弘前市水道事業の歴史や、水道水を飲んでいただくためのPRポスターを掲示します。

③見学ルートに説明用パネルを設置し、岩木川の水がきれいになっていく過程を体感していただきます。



②管理棟2階の中央監視室や水質計器室で、水道水が厳格に管理されていることを見学していただきます。

④管理棟3階に岩木山を眺望できるビューポイントを設置します。



⑤4ヶ所の渡り廊下に弘前の四季を表すパネルを設置します。



## 見学者の安全対策

①見学ルート以外は立入禁止の掲示板を設置し、施錠を行います。

②普通救命講習を受講した従業員を配置し、AEDや救急箱を持って見学者を案内します。

③災害を想定した見学者の誘導訓練を定期的に実施します。

## バリアフリーへの配慮

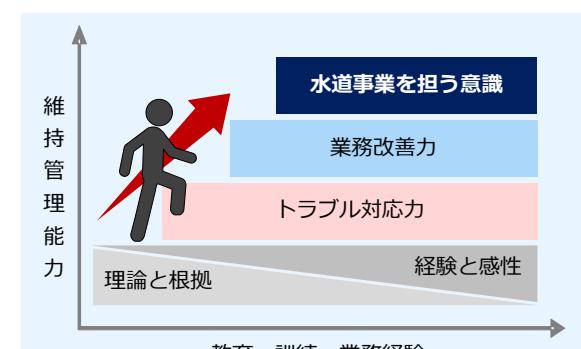
①車椅子による見学者対応として、車椅子用の駐車スペースやエレベーター、階段昇降機を設置します。

②高齢者への配慮として、展示パネルの文字は見やすく、大きく作成します。

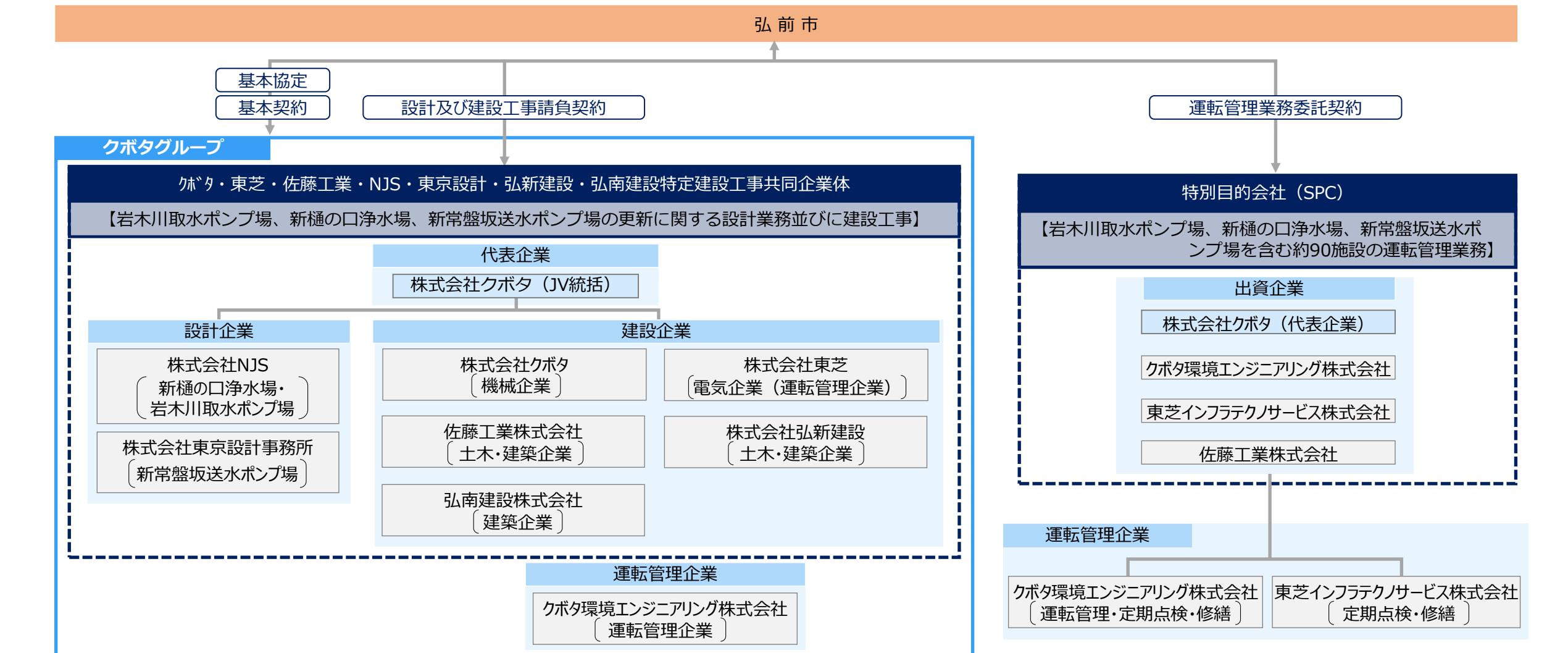
## 地域を守る技術者の育成

①弘前市居住者の雇用を積極的に行い、弘前に根ざした人材を配置し、地域へ技術を継承していきます。

②運転監視に必要な「技術力」と、安定的な水道事業運営に必要な「管理力」の、2つを兼ね備えた、弘前市水道事業を担う技術者を育成します。



## 事業の実施体制とスケジュール（予定）



年月	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和21年	令和22年	令和23年
	4 5 6 7 8	3 9 10 11 12	1 2 3 4 5	7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9
事業スケジュール	▼設計着手	▼建設工事着手				SPC立上▼		▼運転管理開始		弘前市との相互確認▼
調査・設計								建設工事完了▼		引渡し▼
岩木川取水ポンプ場					土木・建築	試運転・調整				
新樋の口浄水場					機械・電気		試運転・調整			
新常盤坂送水ポンプ場					土木・建築	試運転・調整				
試運転・調整					機械・電気		試運転・調整			弘前市への業務引継
運転管理										アフター サービス
					場外施設・新樋の口浄水場	運転管理業務 準備	習熟期間		運転管理業務（運転監視、保守点検など）	

※施設名称は仮称となります